

コンビニエンスストアと連携した「てまえどり」啓発を実施しました

1 趣旨

食品産業から発生する食品ロス削減のためには、食品事業者における取組のみならず、食品小売店舗等を利用する消費者の方々に、食品ロス削減への御理解、御協力をいただくことが必要です。

日頃の買い物の中で、購入後すぐに食べる場合に、棚の手前にある商品を積極的に選ぶ「てまえどり」については、販売期限が過ぎて廃棄されることによる食品ロスを削減する効果が期待されます。

(参考)

「てまえどり」の呼びかけは、令和3年6月から、消費者庁、農林水産省、環境省、一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会が連携して啓発を実施していますが、県としても独自の啓発物を作成し、一層の協力を呼びかけるものです。

2 内容

消費者の方々へ「てまえどり」を呼びかけるための商品棚用POPを店舗に掲示。

3 参加企業（県内約1,900店舗）

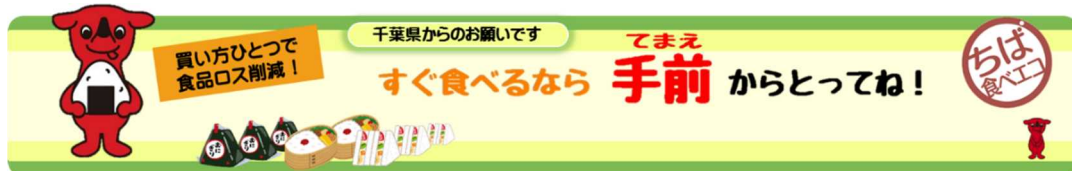
セブン-イレブン、ローソン、デイリーヤマザキ、ファミリーマート

4 実施時期

12月17日から順次掲示開始



<啓発POP>



5 実施効果の測定

- (1) 実施店舗アンケート 別紙1のとおり
- (2) 職員アンケート 別紙2のとおり

